

一九五三年

千曲會報

第四七号

昭和二十三年十一月五日印刷
昭和二十三年十一月一日発行
信州大学繊維学部
編集人 田口亮平
印刷人 中沢正
印刷所 中沢印刷株式会社
信大繊維学部
発行所 社團法人千曲会

纖維學部雜考

伊藤武男

昭和二十四年四月わが纖維学部が(一)真理探求(二)社会人の育成(三)職業への専門修練を指導原理とする新制大学として発足してから已に五年を経過し、今春は第一回の卒業生を世に送つたのであるが、こゝで一応既往を反省し、将来を考へてみるのも無駄ではあるまい。

育成のための一般教育の如きは未だに教授陣の不足を數名の他学部教官の応援に依つて補つてゐる次第で、洵に心細い次第である。又、新制の大学教育は大学院を加えて始めて完備するのであるが、それも無い現在の本学部が未だ整つた大学でないことは素直に認めなければならぬ。さればといつて、その完成は、日本の現状では、到底今日明日のうちに実現出来そうにもないが、吾々の当面の問題は内容の充実に全力を挙げて、時機の到来に備へることである。



三笠宮御夫妻御來學

上田市宮コートで開かれた一全日本学生軟式庭球大会に臨まれた三笠宮御夫妻は、八月二十九日午前十一時半本学部にお着きになり教職員、学生、御出迎への中を学部長の先導により、各種養蚕飼育法、蚕体生理実験、製糸工場、紡織工場、電子顕微鏡、纖維化学実験等約一時間余に渡り親しく御見學遊ばされた。

論説

總會の地方進出

近く千曲会の總會が開かれるのであるが又今年も会費の事が議題になると思う。要するに会費の納入が悪くて会の運営が出来ないという問題である。千曲会は今迄全国數ある同窓会の中でも特に強固な会として自他許して来た会だけにこんな問題で悩またくないのであるそこで今本会の会費納入状況を一瞥すると次の様

である。即ち納入率は上田を中心とする長野県在住会員が最も良く上田から距離を隔つて從つて次第に悪くなる。然し其の中に於て群馬・神奈川・兵庫・京都等々の諸県は距離に関係なく良いと言つた状況である。此事は即ち上田から遠ざかる程次第に疎縁になるのであるに對する関心も薄らぎ会費の出し振も悪くなるが、然し会員が多數居る様な府県ではお互に会う機会もあつて自然本部や母校の情報もきき関心も出て会費を良く

出すと言ふ訳であらう。してみるとこれは距離の遠近にあらず連絡の親疎によると言える。さて若し然るとするならば此問題の對策も浮きそうである。そこで以下私の思ひつきであるが右の所論に立脚し本部と各地方との連絡強化の一方策として毎年開く總會を時折折地方で開く事、その際は会議のみに止めず講演会を併催し大いに本会及母校の氣勢を振ふるの如何か。母校の学生は此処數年來殆んど県内出身者に限り、県外生は奇らしい

程しか居ない、学生出身地の分布状態から見ると母校は今や全くローカルカルテツに墮してつた。こうした面の打開策としても意味はあらう。今夏は學術會議でも長野で總會を開いたし、最近大相撲も上田で信州場所を打つた。聞けば善光寺でも出張開帳と言ふ事を研計中の由である。三國伝来の如き様でも此のせち辛い時勢では座つて居たでは衆生落度には出来ないのである本会及母校でも地方巡業と出るのは如何か(野口新太郎)

の雰囲気、環境がそれに適應する。つまり、安んじて研究に没頭することが出来、教育に熱意の持てるようなものでなければならぬ。こういう雰囲気は吾々自身でつくるべきもので、おたがいに真実學門に打ち込み、寛容に協力しあふ自然に醸し出されるものと思う。自然にといつても成行きに委ねるといふのではない。安易なコンベンションリズムや偏狭なセクシヨナリズムなどは嚴に戒むべきである。勿論こういう清新獨創的な氣

運に應えるだけの学校施設は是非共必要である。ところで即今目前の現実とはいへば、専門学校としては充実にいたる筈の本学部も、大学としては足りない点が多い。あれも、これも手を着けたいのが色々ある。中でも、差迫つてやらねばならぬのは基礎的研究の施設を整備すること、図書館を拡充することなどである。体育館の新設や寄宿寮の整備なども放つてはおけない問題である。

却説、新制大学の一つの特徴として地域社会との関連が挙げられる。この意味では、本学部は科学研究研究室を持ち、又今年からは養蠶講座を短期公開する。前者は高校以下の教官を対象として、これに研究室を開放するもので年々二十余名の入室者を數え、後者は養蠶経験者を対象とする成人の専門學級である。

余力動き拘わらず敢えて之を為す所以は地域社会に入り込んで其の文化向上に寄与せんが為に他ならない。由來我邦の大学教育は大都市に偏する嫌いがあつた。先般の教育制度大革新を経た今日では地方にも特色ある大学が出来て然る可きであるまいか。即ち、學上高水準を保持する一方、其の地方の文化、産業に結びつき、之を推進する大学である。上田市は學都としては大都市ほどに研究上の便宜に恵まれてはいないが、修学には洵に好適な土地柄である。ゆくゆくはこれを日本のゲッテンゲンにとの考へは痴人の夢に了るであらうか。

日本学術会議の業績と改選

蒲生俊興

日本学術会議が昭和廿四年一月二十日に成立してから、はやくも五ヶ年を経過し、その間、所期の主目的である、我が国の科学の向上と行政・産業並に国民生活に對し科学を反映且つ浸透させると同時に海外に於ける科学の諸機關に、我が国の科学を紹介し之と堅密な連繫を保つて行くことに絶大な努力を払ってまいりました。

もとより我々日本國民は文化國家の建設者として如何なる國にも劣らない素質を持つてゐることは幾多の事實が立証してゐる所であり、如何せん物心兩面に於ける空前の戦禍を蒙たわが國をして文化國家として立派に再建せしめる為には、先づ國民の道義心の昂揚と、科学の振興並に行政の科学化ということが先決の問題となるのであります。

学術會議は之等の目的に向て、廿五、六の委員會を作り緊切な、凡有る問題を提えて之を檢討し、運営會議を経由し、春秋二回の總會の決議によつて、既に八十余件に亘る政府の諮問に答申し、又学術會議から政府に對して勸告要望、申入などを行つたこと

(一)新設新制大學は創立後數年の間に人員を増加し、相當施設も拡充するものゝ如く伝えられて居たが、創立後五年を経過した今日、依然として不完全なるまゝに放置せられ、而も、教育研究費などの面では、旧制大學は勿論もと興立醫學專門として數年前に出発したもので、アメリカ占領中醫學を強制的に医大に格上げしたのも、後進的にA格と認め、創立四十年以上の歴史と相當の施設を有する本學部の如きものが依然としてC格に認定され、教育研究費はA級大學の半分となつて居る。之等の各級の無理を正して新制大學の拡充を期する委員會が出發して協賛中であり、(二)原子核研究所や反射望遠鏡の設置は基礎科学の進歩上必須のものであるが、之を決

蒲生教授の當選を期して

来る十二月十日を期して第三回日本学術會議會員の選舉が行われることになり十一月月中旬頃には有権者に投票用紙が配布される筈であります。此の度にはわが蒲生教授は種々の点から固く出馬を辭退されてしまつたが、日本学術學會其他多方面から推されて遂に全國區から立候補されました。日本学術學會は全國區候補として

他に田中義廣、吉沢彌吉、木暮、横山、山根の五氏を推薦してあり、前回ならぬ今度の候補者の當選を希つてゐるの候ありますが、今回は前回に比

議して政府に申入を行つた結果、文部省は何れも五ヶ年計画により昭和二十九年度予算に計上して要求中と承つて居ります。この内反射望遠鏡の件はその設置地点の氣象關係やその他の環境条件からして上田附近もその有力な候補地となつて居り、幸に明年年度予算が通過すれば、上田市でも設置準備委員を擧げて極力之が實現に努力する方針の様であります。

(四)新制大學が出發してから五年にもなる今日、未だ、大學管理法が出来ていない。旧制大學は従来の管理法をそのまま運用しているから何等差支ないが、新設新制大學は全之が運営上準備すべき管理法もなく、何れも各々大學思いの取扱を行つてゐる有様であり、学術會議の學問思想

して極めて困難な状況にあり、同僚諸兄には、學會並に科学技術進展の爲に自己を犠牲にして敢闘されてゐる蒲生教授の「勝利」のためには有権者と否にかゝりなく前回以上の御同情と格別御支援を御願ひ申上げたのであります。すなわち今回の困難性は、

(1)第六部(農學關係)全体としては、有権者が八割も増したのに、農學有権者は四割程度しか増していないこと、

(2)第六部の他の學會は立候補者數を統制して當選確率を期してゐるのに対し、農學學

は當選可能性三名に對し六人の立候補であるから實際當選は二名位ではないかと見られること、

(3)千曲會の有権者は他に比し甚だ少數であること、

(4)従来は三名連記投票であつたが今回は二名連記制に變つたこと、等々であります。

農學學會は全体としては出馬するだけ多くの當選者を出し、會員を會議に送り出したいものと、夫々の選挙母体に對し期待してゐる所が大きいわけであり、その意味では當選部及千曲會は榮幸ある推薦を受けた蒲生教授を以て絶対的に榮冠を獲しめることが目下の急務であり重大な責任と考えられますので、農學學

(以上)

(日本学術會議員 農學博士)

千曲會理事長 林 貞三

物が「生きている」か「死んでいるか」を本質的に理解することは非常に難しいことであるが、現象的に見れば一応運動成長繁殖の三つを行うものが「生物」という言葉で表現出来る。然し生物からこの三つの特性を持った物を「Living thing」に造り出すとは単なる想像の領域である現在において、生命の謎を解く手段としてはこの現象そのものについてその細い機構を解くまで探求するより他に方法はない。

生化学の進歩により、今まで殆んど神秘的としてしか考へられなかつた分野、例えば筋肉運動の機構、遺伝子の本態などすらも物質的に理解されるようになり、生命は著しく物質化されて来た様である。生物は多くの種類の酵素を持つている。今日知られている酵素は何百種とあるが、生命現象に最も直接に関係あるものは複合蛋白質を主体とした原形質の合成に与かるもの、熱源代謝を行う一群の酵素系、筋肉などの伸縮に関与するもの、或いは遺伝に関与するものなどである。現在のところ蛋白質合成や遺伝などに関する酵素系の明かにされていくものは少ないが、細胞化学などの技術的進歩に伴いこの種の酵素系を次第に明らかに出来てきた。然るに酵素化学を中心とした細胞代謝の研究は、過去三十年間において生命活動のエネルギーの根源である熱源代謝や筋肉運動に関

しては、殆んど余す所なく解明を与えた。

In vitro で熱を出すには、たゞ有機物を高温で燃焼させれば充分であるが、生物体内の熱源代謝には糖質などのように酸素の力を直接借りないものと、酸素を利用して多量の熱を生産する方法とがあり、これらは複雑な酵素系からなる機構によつてなされる。つまり生物のような低温においても、炭素原子二つの結合だけでも百キロカロリー以上もある結合を切断しこれを酸化したり、水を奪つて水とするなどの仕事をやるためには、著しく高度に専門分化した多数の酵素の分業によるより外に致し方がないのである。例えば正確に時間を知るには秒

計より遙かに複雑な時計によらねばならぬことを考へても、低温である生物の熱源機構が如何に複雑であらねばならぬかがわかる。生物体内には糖酸系と称するアデニール酸・リン酸(A・T・P)やクレアチン・リン酸の糖酸結合を持つた一群の物質があり、エネルギーの貯蔵の役目をしてゐる。必要に応じてこれらの物質から糖酸を離すことにより(勿論糖酸の)大きなエネルギーが出る。これは直に生命活動のあらゆる面に直接使用される。一度糖酸を離したものは再び高エ

ネルギーのものに戻つていないと、次の必要の場合に間に合わないのだ、これらの物質の再生のために生物は体内にあるあらゆる有機物を燃焼の効率に比べて遙かに優秀なもの、かゝる優秀な熱機は今日のような発達した工業技術を以つてしても到底製造出来たものではない。この辺において我々が生命の神秘的な片鱗が伺われる。筋肉は神経の刺激で伸縮するので、昔から「生きてゐるもの」という概念で取扱われて来た。殺した蛙の筋肉をリンゲル氏液に漬けておくと可なり長い間この機能を發揮する筋肉は泡に或る意味で生命の縮図である。かゝる神秘的な

生命と酵素

西澤 一俊

と伸長とはアクトマイオシンがコロイドとしての特性を有するため起る現象である。即ち神経の興奮によりカリウムやカルシウムイオンの濃度傾配に変化が起り、そのためアクトマイオシン分子に加水されていた水は放出され、その結果金剛ダイヤモンド式の筋肉分子は、伸びた螺旋が縮む如く、或いは羊毛が過収縮する如くに短くなる。このことは試験管の中に取り出されたアクトマイオシンについて実験することが出来る。収縮した筋肉はエントロピーも著しく増大しエネルギー不足となるので、これを再び伸ばすには他からエネルギーを補給しなくてはならない。これは前記のA・T・Pの分解によつて発生した熱量を当てる訳である。それによりA・T・PはA・D・Pとなるが、これは熱源代謝により再びA・T・Pにされる。

細胞は大きく区分すると核と細胞質とになる訳だが、熱源代謝や糖酸系は細胞質中のミトコンドリアの中に埋蔵されている。核の中には染色体その他の核蛋白質が充ちてゐるが、染色体中に埋蔵されているジーンは最近の推理若しくは実験結果によると、蛋白質またはその集合と見做すことが出来るが、その上これらは酵素を造る一種の酵素と考へなくてはならなくなつて来た。例えば先天性皮膚病や急性錯乱症や黒変尿症などにみられる。即ちフェニルアラニンが色々の酸化酵素のためメラニンまでになるが、この途中一

ツの酸化酵素を欠くと白皮病となり、これは遺伝性となるまたフェニルアラニン代謝の中間体として生ずるフェニル焦性葡萄糖を酸化する酵素が欠け失つてゐると、急性錯乱症となり、ホモゲンチズミン酸を分解する酵素が欠けてゐると、尿が黒変する病状となり何れも遺伝性である。つまりかゝる病気の発現のジーンはフェニルアラニン代謝に関与する二、三の酵素を造る能力がない状態を意味する。従つて正常のものゝジーンには造る能力がある訳である。

これらの酵素も一種の蛋白質であるから、最近の蛋白質合成の鑄型説により推論するならば、正常体のジーンとこれらの酵素蛋白質とは同一か或いは類似のものではなければならぬ。病気のものは勿論かゝるジーン蛋白質を持つていないものと考へねばならない。このような推論を飛躍的ではあるが一般遺伝現象に押し広めれば、ジーンとなるべき蛋白質またはその集合体が細胞に並んで染色体を構成しているものと推定されるので、細胞の核は生物個体の原形質及その他の重要物質を造り得る酵素の一大群落と見做されるのである。おまけに、核蛋白質には特異性に富んだ糖酸が補欠分子として結合してゐるのであるから、核蛋白質は著しく多様性のものと考へられ、従つてジーンが多様性もこの意味においては理解出来るのである。

(信州大学繊維学部教授 西澤一)

随想

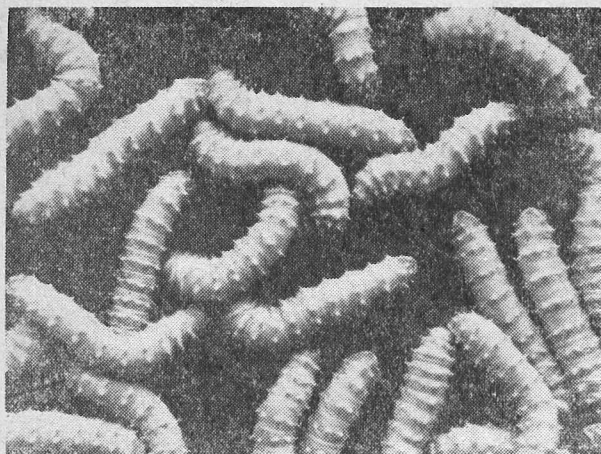
千曲時報を見る毎に

八木 誠政



今度久しぶりの時報に執筆する機会を与えられたので色々感想が湧いて来る。筆をとり乍ら心に先づ浮ぶのは、皆は今何うして居るだろうかと思ふ。成る程色々論文を発表して居るものや特許の五、六もあるが其れが一体人生に何

する機会を与えられたので色々感想が湧いて来る。筆をとり乍ら心に先づ浮ぶのは、皆は今何うして居るだろうかと思ふ。成る程色々論文を発表して居るものや特許の五、六もあるが其れが一体人生に何



「とげのある虫」(光画クラブ作品)
山口 定二郎

の程度の貢献に値して居るか自分にはわからぬ。著書も共著や何かで数冊は出て居るが日本だけを相手にした本ではない。今も尚一冊位は英文で本を出したいと念願して居るが果して一生の間に完成し得るかどうかは疑問である。毎日研究だけは連続して努力をして居るが、何の程度の成果をあげ得るか自分には予測し難い。考えて見ると一生は短い。自分ではたまたま努力して来たとは思ふが、残るものは一体何であるかと甚だ心もとなく感ずる。

私は日本の文化の向上を急願して止まないものの一人であり国民全体も同様であると思ふ。其れに何等かを貢献しなければ向上には影響する所が少いのであらうと思ふ。此の貢献については色々考えた方もある。即ち生きて来たことが日本の歴史の歩みに對して何等かの寄与をして居る筈であると思ふ。其れは生物学には正しいと思ふ。何となれば動物も同じ過程に於て種の保存に貢献して居るからである。

文化に貢献すると思ふことは何か社会に残すことである。近年文化財の保存がやかましくなつて来たが、其の中には建築物が多い様である。文字に書き残されたものには此れと思ふものが少いのである。其の点では中国にははるかに劣るであらう。

終戦後日本は文化国家として再建を中外に宣言したが其

の舌の末だかわかぬ内に再軍備に向う気配を示して来た。過去に於ける文化の遺財の雄が城であるのも日本の標徴であるかも知れぬが、再び又同じ方向に進もうとする日本は其の意味の文化に何を残し得ようか。吾々は研究費と云うには余りにも僅少の金額を毎年同じ様に分配して貰ひ其れを以つて、残り少き人生の最後の努力をなさなければならぬ状態にある。恐らく同様な状況に於て多くの大学及び研究所の人々があえぎつゝあることであらう。

日本の行くべき方向が今日の新聞に見られないかどうかが此の点については国民全体が沈思三省を要する。吾々は未だ昨日の如くに記憶して居る戦争の惨禍を想うに切なるものがある。然るに性懲りもなく再び同じ轍を踏まなければならぬ方向に進むものとすれば何と日本はあわれな運命をせ負わされて居るものであらうか。日本の世論を指導する吾が同窓諸君の健康なる理性と勇気ある行動とを平時にも急時に期待して止まないものである。

千曲會費を御納入下さい

千曲會の運営の円滑化を企てる為是非共入会金及通常會費各二百円を御納入下さる様御願ひ申上げます。御払込は支會を通じて又又は本會へ直接でも結構です。

各科便利

光る電子顕微鏡

紡織學科

今春大学初の卒業生二十八名を工學士として送り出した会社へ或は他の重要ポストへと堂々たる就職振りを見せたがそのプロファイルや如何が先主主任に職物の權威たる三浦教授を立て紡績學講座の野口・小林両助教授も御病氣全快後研究に學生の指導に大活躍、更に編組學にフアイト座には温厚なるボット、シルクの大家柳沢助教授更に新婚の夢新たる一志講師は研究(織物の硬軟度)と両天秤に肩の荷が重そうです。又電氣學に於ては小林清丸先生退職の後信大工學部より

小泉先生の出張講義を願つて居ります。恩師福田文矢先生には一昨年三月御退職後郷里広島県福山市にて御静養中の延本年一月五日永眠されました。又織維物理學講座では電子顕微鏡設置に骨折られた木内先生は本年三月薬石の効空しく他界されました哀愴の念禁じ得ず末筆乍ら謹みて二つの悲報を御伝えします。木内先生の後任として呉教授が赴任され將來超微世界の研究に大いに期待されて居ります。その他の職員諸氏、諸嬢も皆健在で実習工場及研究室に頑張つて居ります。

時代の寵児?

纖維化學科

昭和十七年九月に第一回の卒業生を世に送った纖維化學科は二十六年三月に巣立つた第九回生を以つて専門學校時代最後の卒業生となつて了いさゝか淋しかつたがこの春に大学第一回の卒業生が意氣軒昂として世に出たので心強い限りである。

大学になつてから、同窓生の皆様も既に御存知の事と思ひますが、講座制になりまして現在天然纖維化學・人造纖維化學・色染化學高分子化學の四講座が設けられて居ります。

天然纖維化學講座には奥先生坂口先生清水周氏(九回)六川嬢(前に紡績科に居た)が居りまして蛋白質纖維の品質改良及びその化學的組成研究及絹の触感改良に關し研究を續けて居ります。

人造纖維講座には岡田先生池田氏(六回)生島嬢が居りまして、醋酸纖維素の延伸に關する研究を續行して居り纖維の浸透性に関する研究・絹の合成樹脂処理による品質改良等について研究を行つて居ります。

米國留學に因んで

奥正巳



一昨年の十月から三ヶ月の予定で文部省から米國に留學を命ぜられたが学ぶべき事が余りにも多くありましたので、無理をして昨年の四月帰朝するまで凡そ六ヶ月間米主として纖維化学の研究調査に従事して参りました。ところが帰朝早々本誌上で御挨拶申し上げるチャンスが逃してしまつたので遅ればせながら、茲に渡米に因んで二、三の事でも述べさせていたゞき御説びのしるしと共に改めて渡米に際してよせられた同窓諸氏の多大の御芳情に深甚の謝意を捧ぐる次第であります。

私の滞在期間の最も長かつたのはニュージャージー州のプリンストン大学の三ヶ月有余であります。其他エール大学の化学教室にも約二十日間滞在し残り一ヶ月半を各地の研究所や工場の見學に費しました。渡米中に会つた千曲会員としては蒲生先生を除いて唯一人片倉の矢野榮輝氏にはニューヨークで大変御世話になり同氏のホテルの同室で臨時ベッドを運んで来て貰つて宿泊させて下さつた事が一回ありました。三ヶ月の予定を六ヶ月に延ばしましたので生

大學教授の貴族

米國の社會には學閥がない。従つて大學にも學閥がない。開閥がない。講座制がない。四十年間依然として変わらぬ日本の大學並に學界の因襲は葉にたくとも何れぬ程新鮮味に満ちたものである。大學教授は實力によつてその地位を確保されてゐるのみである。各大學競つて自己の大學教授陣營の強化を計り有能新鋭教授が高級でドンソン他の大學へ迎えられて行く。その際研究室の家の子郎党も共に引き越して行く。大學教授の停年制は七〇才であるがそれ迄にでも勉強しない實力のない教授は辭職せざるを得なくされてしまふ。それは學生の實力が教授に打ち勝つ様な場合が屢々生じるからである。アンダーグラデュエイト(新制大學四年)の間はまだしも有名な大學の大学院の二年生位になると多くの専門的實力に物凄いの足りない教授を理論で勉強させてしまふ。かゝる事が度

重なればその教授は知らぬ間に學生が密りつかなくなる。そうしなければその教授は大學に居られなくなるし大學総長より辭職勧告を受ける事にもなる。大學教授たる者寸時もボヤボヤして居られぬ。日本の大學學生に点数が甘く就職の世話が上手でオープンチャラを使つた先生が評判がよいのは格段の差である。激しい生存競争の面相を如実に米國の大學教授並に學生仲間に見ることが出来て彼我相照して感慨深いものがあつた。

最も高価な纖維 米國で最も高価な纖維と云えば多くの人は必ず絹であると云ふ。最もよい纖維と云えば矢張り絹であると直ちに答える人もあるしナイロンやオルロンだと答える人も随分多くなつて来た。今春米國のロサンゼルスから旅行に祖國へ歸つた一世の人にデークロンのワイシャツを一枚買つて来て貰つた。その価格驚く勿れ、邦貨四千二百円である。とこ

ろが着用して見るといくら洗濯しても黄褐変せず純白であるし晩に洗つと朝には必ず乾くしアイロンをかける必要は全然ないのでナイロンよりも遙かによい。而も常に新品同様の外觀であるから四千二百円でも出さぬ。今日米國でもデークロンのワイシャツを着るのは長期旅行位の時で平素は綿ブロードのサンフオライズを着用している。デニボン社では本年一杯かゝつてデークロンの大量生産の設備を完了しようとしている。そして価格を絹よりも安値にしようとしている。既にナイロン然りオルロンも生糸より安値になりつゝある。そうすると生糸が最も高価な纖維となる。絹織物の価格を下げる目的で絹にオルロンやデークロンを混織するような事にもなるのであらう。私の手許に米國から紳士用絹服地のサンプルが届いた。素晴らしい味である。

色染化學講座では会田先生(遠藤氏、清水渥氏(九回)宮島嬢等がトリアチン系染料の合成及合成纖維の染色に関する研究を行つて居ます。高分子化學講座に於ては大平先生北条先生今井氏(四回)武重嬢がアイゼニンに関する研究、合成ペプチドに關する研究、イオン交換樹脂に關する研究等を行つて居ます。殊に大平先生は科の主任として研究、講義の外に學生の就職問題に學外実習斡旋に多忙を極めて居ます。宮下・高野・山崎の諸氏も相変らず元氣で科の為に熱心に仕事に励んで居ります。

多士濟々

教養學科

教養學科——といつても專門學校時代の同窓諸兄にはちよつとお分りにならぬかも知れませんが、これは新制大學の特色といわれる「一般教育課程」の教授にあたられる先生方によつて構成されてゐる戦後の新設學科で、従つて他の學科に較べて新しい先生方が多く、それぞれ一國一城の主たること、此の科独自の持ち味と云えましようか。

さて、先づ自然科学系列を担当する理科の近況からお知らせすると、現在の科主任は物理の天白先生で、先生はこのほか職員組合の文化部長としても尽力されて居ます。伊藤先生は再度學部長に選挙せられて御忙しく、須田先生は専ら研究室の留守居役。前主任西沢先生は補導や予算の委員として御活躍ですが、最近蚕養を原料に家畜の榮養飼料を造ることに成功されたのは新聞紙上で既に御存知の方もある筈。

數學の安東先生も御元氣で神科村のお宅から快速軽自動車でお通いですが学内之を

使われたのは先生が矢嚙といふわけ。同じく數學の佐藤良泰先生は不斷の熱心な御勉強が過ぎてか健康を害され、暫くは御静養の予定。御全快の一日も早くからんことを祈るや切です。

又、生物の八木先生は圖書分館の名館長として御活躍ですが、先生永年のバク食主義の効果が年来益々お若く「蝶類の種の進化」「蛹化時に於ける神経的作用」等の御研究が著々進行中と伺つています。また学内光學クラブの有力メンバーとしてアマチニアカメラマンの腕前も特選級の由。同研究室の小山先生は別掲の北海道紀行にお書きの如く北大の内地留學から歸られた許り、「蚕と野蚕の複眼」「セントウムシダマシの食性」の研究に没頭中。大いなる成果が期待されて居ます。さて以下、専ら一言無しの中村先生科を見れば科主任の村先生が研究をなさる意図なく、経済學の西川先生、獨乙語の朝倉先生、英語の山崎先生、哲

大室農場を想う



黒土の中からむく／＼と力の限り頭をもたげてくる。さ／＼と輝く紫外線をいつぱいに身に浴び乍ら燕麦・玉蜀黍・馬鈴薯等々人間に命の糧を与えんと今日も雑草とせり合つてゐる。吾等の汗が滲みこみし場所沃土は、いつ／＼までも。

田中記



「郷愁」 (光臨クラブ入賞作品)
櫻井善雄

絹の洋服地が忘れかけた昨今の日本人に米国では絹の男子用服が流行しつつあると言つたらどう考へるか知らぬは今後も果して最も高価な繊維として残り得るか？或は残し得るか？最も高貴な繊維として残り得るか？残し得るか？之は我々日本人が解決しなければならぬ問題である事を痛感する。

米国の大学の教材にカラーイラストが極めて普通に用いられている。医学の解剖講義の際でも手術部は天然色のカラーイラストで講義される。名所旧蹟と名つゝところに行くとカラーイラストが売られて

新任者の希望と雑感

矢木博



の農業経営は養蚕によつて一層安定し得たと信じます。長野県下には〇〇原、〇〇高冷地が多いからだと簡単に考える人が多いと思うが、こ

京都より

高木春郎



りよく読まない私にはその辺の詳細は分かりませんが、風水害対策に使われる為の留学期間が短縮になるのだからと解釈すればいくらかわくわくした気分も収まるというものです。先月の台風では長野県もかなりの被害があつた様ですが、当地の惨状は相当なものではない。私は京都に下宿し新大阪電車で高槻の京大化学研究所へ通つて居りますが、高槻の手前が淀川の支流の決潰により一面水に漬り(上田の町位の広さでしようか)御陰で十日以上も途中から国電に乗り換へなければならなかつた様な訳です。大部分は田圃で取

私は農林省農事試験場で八木誠政教授と共に勤め、終戦後横浜国立大学に移り、本年七月に本学部に志波教授の後任として御世話になり、土壌肥科学と分析化学を担当させて戴いています。私は養蚕に対する知識が乏しく且つ浅学非才で、長い伝導のある本学には微力で、志波、古谷、川瀬の諸先生のとを汚しはせぬかと心配しています。然し最善の努力を致し御期待に添いたいと存じますので、今後皆さんの格別の御指導と御援助を御願ひ致します。又度々御来学戴いて直接御教示を戴く外に私共も度々学生諸君と共に参上致し度いと存じますので宜敷御願ひ致します。土壌を通して我國の養蚕を考察してみますに主要な養蚕地は殆んど火山灰質の軽鬆土壌で風蝕や水蝕を受け易い様であります。桑の栽培が桑園地は勿論桑園地附近の土壌まで土壌浸蝕(ソイルエロージョン)防止に役立ち又、桑は稲の根と異つて根から酸素を出し得ず、麦と同様湿地に適しないので、火山灰性の輕鬆土にも適し、我國の様な火山国

原稿用紙確かに載きました。異つた土地に住み初めての大学で勉強して居ると色々感ずる事もありお話ししたい様な事もありますが、実は最近「予算の都合で来年二月迄の予定の内地留学が本年末迄に変更になつた」旨の通知を貰い、いさゝかむか／＼して居る所で出来れば今回は御容赦願ひたいと思います。二三日前或る人から「そりや保安隊ヤ一人二ヶ月短縮で九千円、全国で四百人位内地留学者が居るとして大体三、四百万円や機関銃の丸が一バツ四十五円であるサカイ十挺の機関銃で何分撃てるかな」等という話を聞くと余計面白くなくなつて参ります。新聞をあま

れ等の土壌は石灰のみならず苦土まで欠乏した他県にも少い不良土壌が多い様です。この様な所には作物は勿論よい家畜も育ちにくいようです。耕土培養法と云う法律によつて不良土の改良が出来ますので一日も早くこれ等不良土壌を解消し、よい耕土にすべきだと信じます。

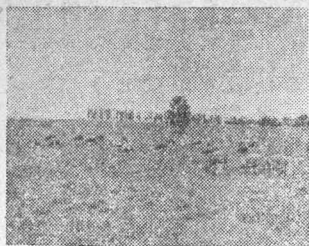
上田でやつて居つた事の延長で装置も上田から持参して来てやつて居る様なわけで気分的にのんびり出来たので休日には専ら京都のあちこちを見学して廻る事に居ります。さすがに千年の都で戦災も受けて各時代の文化財が保存されて居る京都は我々ばかりで居るには静かな奥ゆかしい感じを与えます。唯今私が面白いと感じて居るのは京都の人が案外京都のよさを認識せず又あまり京都を歩いて居らないという事です。そして逆に我々信州等に非常な憧れを持つて居る事です。こちらの研究室の約半数は今夏信州の山々志賀高原や上高地、アルプス等を訪れて居りその美しさを賞讃して居ります。この事はそつくりそのまゝ逆に我々信州に住む者にもあてはまるのではないかと云う様な気がします。確かに信州の大自然の京都等の持たない美しさを持つて居ると思ひますが、我々信州人に真にその価値を認識して居ない様に思ひます。更にこういう様な事は縦横学部そのものについても或る程度言へるものかもしれません。他所の大学へ来て居ると案外今迄のつかぬ所な所な上田の学部にもよい処があるなと感ずる次第です。(勿論上田の学部が例えは京大工学部より良いというわけでありませんが)人間というものは一ヶ所に居つたんでなく、其所の長所も欠点も認識しにくいもので機会をつくつて外へ出てみる事は意味のある事だと感じます。では又の機会に詳細お知らせ致します。

北海道問答

小山 長雄



「しばらく見えませんでしたね。北海道へ? 何しに?」
 「内地留学ですか。いうなれば避暑ですね。」
 「でもそう簡単に肯定されちゃあ。でも札幌はいゝ所ですよ。」
 「そうですか。北歐的な色彩は街の広さと樹林相にありという所ですか。」
 「尤も冬中ストーブをたぐから街の黒ずむのも無理はありませんね。」
 「するとやはり北海道のよさは人為的なものになく、荒けずりな自然の荘大さにありというべきですかね。」
 「ホウ! 街の中に原始林が



あるの?」
 「フウん、じゃボクのような氣の小さい者は狩勝原野や阿寒、摩周といった湖をみたら氣絶しかねないね。」
 「そう、やはりあるんだね。その学生なんか自然の荘大さに吞まれちゃつたんだね。異邦的なノスタルジヤも多分に手伝つていたろうけど、ヘー! 一軒の旅館に浴槽が二十も三十もあるの?」
 「ボクは登別で写真でみたことがあるんだけれど、白老のアイヌは今の所見せ物というわけですね。」
 「アイヌ人つて、そんなにアイドルですか。狩猟民族の末路の標本みたいだね。」
 「そういうのはトルストイに似た顔をしてるね。」
 「ホウ! 竹がないんですか。竹がなくなっちゃ七タのとき困るだらうね。」
 「エッ! 柳の枝を用いるつて?。感じが出んナ。」
 「考えようによつては夏の柳は反つて風情もあるね。」
 「北大はまあ北海道のカナメに相当するわけだからね。でも準講座で年間の割当費が三十万円もあるつていうのは羨しい限りだね。」
 「すると旧制大学のよさを満喫して来たわけだね。」
 「ホウ! あの有名な時計台は校内にないの? 尤も札幌農学校といつた時代の場合に北大はないわけだから

ね。」
 「ボーイス・ビー・アンビシヤスの精神が脈々と流れているところ、偉大な教育者の力を感ずるね。」
 「新渡戸・内村・宮部などの先生、近くは木原、田中(義)逸見といった先生は皆北大出でしたね。」
 「そう、たしかに君の感ずるようにやはり歴史の浅い土地というものは何か物足りぬものがあるでしょうね。」
 「私は本年七月から三ヶ月間北大農学部昆虫学教室で勉強

光画クラブ ニュース

昨年未だ足以来約一ヶ年を経過した光画クラブは会員の腕の上達も非常に目覚ましく相互の親睦も益々深まりつゝある。
 月例を毎月催しておりその月の最終土曜日の午後行われ出品点数も三〇点を上廻り盛況である。
 学内の第二回文化祭写真展

會員計報

北島 正生 田村卯一郎
 市村 尚文 鈴木 雄七
 山本 誠 佐々木 峰二
 中沢 完一 平石 兵衛
 小林 政雄 友重 誠三
 死亡會員の御冥福を祈り上げ哀悼の意を表します。
 故人に対する弔慰金は、その故人名を記し千曲会(振替口座東京四三三四)宛お送り下されば御遺族に纏めて贈呈し

をしまりました。スペースのないまゝに北海道の印象を会話形式で簡単に伝えたいとした。
 この留学について御配慮を頂いた学部長伊藤先生、不自由を顧みずこの機会を心よく与えられた教室主任八木先生に紙上をかりて厚く御礼申し上げます。
 (生物学教室勤務)

梧先生の助手を勤め、続いて長野畜産試験場技師として長野野及上田で長く勤務され、畜産学界に多くの業績を残された。以後約十年間は教育者として丸子、篠ノ井の各高女に奉職、最近故郷の埴科郡森村中学校の懇望にこたえ、教頭として自村子弟の教育と文化に献身されており、昨夏迄は頗る明朗健康な方だったのでこのように忽焉として他界されようとは自他共に夢にも考えていなかっただけに、御本人も残念でならなかつたと思う。
 それに未だ成人されないう令息達のことを考えると御遺族には誠に気の毒の極みである。御遺族は老母堂と信子夫人、それに令息四人で、長男省吾氏は医学士で現在研究中、次男は上田信大繊維学部四年生、三男は高校三年生、四男は中学二年生で、何れも優秀である。終りに故人の御冥福を祈ると共に遺された方々の御多幸を念じて止まない。(山口)

卒業後、長野県、新潟県、千葉県等当初から教育界に入り最後に自県安塚高校に転じ、名教頭として近く校長昇格の機が熟していたのであつたが職務上の過労の爲か、遂に病魔に捕われ、今日の結果となつたものゝようである。
 新潟県は同県教育功労者として、特別の待遇をされたと承つてゐるが、今後多大の期待をかけられた人材だけに誠に痛惜哀悼の念に堪えない。御遺族は智恵子夫人と長男隆一氏(山形大学工学部二年)であるが、現在長女の方がその御主人(同県古川農高の教諭)と共に同家に同居しておられる。自宅は新潟県中頸城郡明治村上増田新田。
 最後に故人の御冥福と御遺族の御多幸を祈念してやまな

編集後記

△会報をもつと親しみやすいものという編集部の方針であつたが、支会及び学外会員からの記事が全く寄せられなかつたため学内会報の様なものになつてしまつた。会員各位の一層の御協力をお願いしたい。
 △本誌編集に当り信大尚学会市川氏に絶大な御協力を戴いた。紙上を通じて深謝の意を表する。(石川記)
 編集部総務 山口 亮平
 編集部員 小山 長雄
 田中茂光 西村善次
 土屋幾男 石川 博

會費領收

入会金納入者(本年入学者)

金井 昭明 (〃) 金井 昭明 (〃) 岡本 克己 (〃) 伊藤 俊文 (〃) 石井 秀一 (〃) 池田 徹 (〃) 荒井 久夫 (〃) 青木 勲 (〃) 伊藤 晋 (〃) 石井 藤男 (〃) 吉川 好德 (〃) 山辺 久雄 (〃) 宮崎 民雄 (〃) 宮下 明治 (〃) 宮坂 曉夫 (〃) 町田 幹芳 (〃) 堀内 亨 (〃) 土屋 競 (〃) 茅野 弘 (〃) 竹内 誠 (〃) 鈴木 昭人 (〃) 塩沢 隆三 (〃) 清水 英 (〃) 佐藤 明良 (〃) 斎藤 幸雄 (〃) 小林 啓次 (〃) 小林 幸長 (〃) 小池 尚古 (〃) 栗林 茂治 (〃) 久保田 重良 (〃) 蒲生 卓磨 (〃) 神田 春茂 (〃) 金子 俊彦 (〃) 片井 弘雄 (〃) 小本 曾章 (〃) 上原 昂 (〃) 上原 昂 (蚕)

小井 土基博 (糸) 小林 益夫 (〃) 小林 陽三 (〃) 小塚 陽一 (〃) 小松 昭威 (〃) 清水 祐一 (〃) 曾我 晏三 (〃) 中沢 昭治 (〃) 中沢 富隆 (〃) 中村 潤子 (〃) 野田 潤子 (〃) 原田 武雄 (〃) 宮坂 敏雄 (〃) 宮下 敏雄 (〃) 室岡 敬二 (〃) 若林 敬二 (〃) 井出 敬三 (〃) 若林 敬三 (〃) 池田 義信 (〃) 池田 義信 (〃) 市川 義規 (〃) 碓井 寛 (〃) 木内 寛 (〃) 倉科 梅雄 (〃) 佐藤 光義 (〃) 清水 一寛 (〃) 篠原 弘大 (〃) 下原 弘三 (〃) 正村 銳三 (〃) 関 英則 (〃) 高島 忠 (〃) 滝沢 啓造 (〃) 玉井 和水 (〃) 角田 隆 (〃) 常盤 真三郎 (〃) 仲岡 武 (〃) 中島 孝夫 (〃) 中島 孝夫 (〃) 中村 富男 (〃)

西村 正孝 (紡) 古川 元彦 (〃) 村山 出男 (〃) 和田 実 (〃) 青柳 正人 (〃) 青島 昭久 (〃) 石井 敬三 (〃) 笠原 昭重 (〃) 川村 礼二 (〃) 久保 正人 (〃) 佐藤 綾子 (〃) 菅原 力 (〃) 竹内 英晃 (〃) 玉井 潤 (〃) 滝沢 孝正 (〃) 東城 篤美 (〃) 新津 正忠 (〃) 西沢 正純 (〃) 花岡 靖 (〃) 橋詰 厚夫 (〃) 林 真男 (〃) 半田 伊助 (〃) 馬場 進吉 (〃) 古瀬 明弘 (〃) 前田 勝彦 (〃) 森 健彦 (〃) 森 雅広 (〃) 森本 功 (〃) 矢ヶ崎 千代子 (〃) 山浦 源太郎 (〃) 柳沢 裕三 (〃) 四茂 野 (〃) 横沢 大造 (〃) 伊藤 俊 (〃) 上原 大 (〃) 鬼形 順 (〃) 片田 平 (〃) 楠原 清志 (〃) 斎藤 宗雄 (〃) 鈴木 正 (〃) 関 清志 (〃) 関 成雄 (〃) 高橋 由三 (〃)

遠山 長信 (別糸) 中島 朗 (〃) 中島 福雄 (〃) 平山 敬治 (〃) 宮坂 正明 (〃) 横沢 功 (〃) 天野 博 (〃) 植松 武光 (〃) 大塚 文夫 (〃) 木村 紀子 (〃) 倉島 富士子 (〃) 中村 弘利 (〃) 中村 孝重 (〃) 花里 省子 (〃) 丸山 いく代 (〃) 山浦 洋子 (〃) 渡辺 恒夫 (〃) 松村 昌三 (〃) 久保田 栄一 (蚕学一) 小宮山 英雄 (〃) 中里 見友三郎 (〃) 青沼 賢三 (糸学二) 小沢 実 (〃) 川上 守久 (〃) 鎌原 俊夫 (〃) 北村 誠志 (〃) 斎藤 幸夫 (〃) 田中 実 (〃) 鈴木 秩 (〃) 中畑 三郎 (〃) 三石 三郎 (〃) 峰村 稔 (〃) 宮本 聰一 (〃) 村山 穂助 (〃) 渡辺 豊 (〃) 西根 道生 (化学二) 小根 道生 (化学二) 近藤 義和 (〃) 下平 稔 (別糸二) 原 進一 (別糸二) 仲村 治雄 (〃) 室岡 定雄 (〃) 安藤 志子 (別糸二)

千曲会費納入者(本年入学者)
一、金参百円也

上原 安信 (別糸二) 山本 佳子 (〃) 宮林 昭樹 (蚕三七) 石坂 茂樹 (蚕三七) 上原 昂 (蚕) 上原 昂 (蚕) 小本 曾章 (〃) 片井 弘雄 (〃) 金子 俊彦 (〃) 神田 春茂 (〃) 蒲生 卓磨 (〃) 久保田 重良 (〃) 栗林 茂治 (〃) 小池 尚古 (〃) 小出 幸長 (〃) 小林 啓次 (〃) 小林 幸雄 (〃) 斎藤 幸雄 (〃) 酒井 明良 (〃) 佐藤 明亮 (〃) 清水 英 (〃) 塩沢 隆三 (〃) 鈴木 昭人 (〃) 塩沢 隆三 (〃) 竹内 誠 (〃) 茅野 弘 (〃) 土屋 競 (〃) 堀内 亨 (〃) 町田 幹芳 (〃) 宮坂 曉夫 (〃) 宮下 明治 (〃) 宮崎 民雄 (〃) 山辺 久雄 (〃) 吉川 好德 (〃) 石井 藤男 (〃) 伊藤 晋 (〃) 青木 勲 (〃) 荒井 久夫 (〃) 池田 徹 (〃) 石井 秀一 (〃) 伊藤 俊文 (〃) 岡本 克己 (〃) 金井 昭明 (〃) 金井 昭明 (〃)

金井 昭明 (糸) 金井 昭明 (糸) 小井 土基博 (〃) 小林 益夫 (〃) 小林 陽三 (〃) 小塚 陽一 (〃) 小松 昭威 (〃) 清水 祐一 (〃) 曾我 晏三 (〃) 中沢 昭治 (〃) 中沢 富隆 (〃) 中村 潤子 (〃) 野田 潤子 (〃) 原田 武雄 (〃) 宮坂 敏雄 (〃) 宮下 敏雄 (〃) 室岡 敬二 (〃) 若林 敬二 (〃) 井出 敬三 (〃) 若林 敬三 (紡) 池田 義信 (〃) 池田 義信 (〃) 市川 義規 (〃) 碓井 寛 (〃) 木内 寛 (〃) 倉科 梅雄 (〃) 佐藤 光義 (〃) 清水 一寛 (〃) 篠原 弘大 (〃) 下原 弘三 (〃) 正村 銳三 (〃) 関 英則 (〃) 高島 忠 (〃) 滝沢 啓造 (〃) 玉井 和水 (〃) 角田 隆 (〃) 常盤 真三郎 (〃) 仲岡 武 (〃) 中島 孝夫 (〃) 中島 孝夫 (〃) 中村 富男 (〃) 中村 富男 (以下次号)

會員動靜

[illegible]

十月十六日から十一月三日迄

す前半を終り、二十五日に東北信
高松英語弁論大会、十一月一日福
井直俊ピアノリサイタル、同三日
全國文化連合とは
學生
全國主要十大学の學生文化團體が

全國文化連合とは

「信州大学同学会」を組織の母に、まに御紹介申し上げます。県内の樹木ま又は他府縣でも教育に關係して居られます方には、既にこの会名を御存じの事とは存じますが未だ誕生して日も浅いので本紙を通じて改めて生い立ちを書きます新學制の波につれて信州大学が誕生し、伊那

先輩の諸兄弟へ

信州大學尚學會

學部及び大學本部、長野に教育、工學の一學部、上田に纖維學部の六學部が融合して、大學を構成していますが、この六學部は地理的に分散し文字通りタコの脚大學でありまして、學生の横のつながりをもちたいとしてうまれたのが、學生の文化厚生團體としての「間

す。機関紙としてまではタブロイド紙「信州スチューデント・タイムス」を刊行で、同約一万部から二万部（これは縣下の中・高校生に無料配布）発行して居ります。御要望の各位には毎回御贈りします。

さて本案の組織と機構について少

信大尚學會後半期行事表

10. 11 第一回アチーブ・テスト (全県)
- 12 高校英弁出場申込メ切
- 20 東北信弁論大会出場申込メ切
- 25 中学生作品コンクール出品メ切
- 25 第二回県下高校英語弁論予選
東北信一上田 中南信一松本
11. 1 本年最後の進適コンクール (全国)
芸大教授福井直俊先生独奏会(上田)
- 3 第一回信州の中学生作品コンクール
審査結果発表
第二回県下高校英語弁論大会(長野)
- 10 文部省進適 (全国)
- 15 第二回学力コンクール (全国)
- 22 第二回アチーブ・コンテスト(全県)
12. 5 本年最後の中学生実力養成テスト
- 26~27 第三回学力コンクール (全国)
1. 17 第三回アチーブ・コンテスト(全県)
- 25 第四回学力コンクール (全国)
2. 14 尚学会新年度事業計画審議会(本部)
3. 3 国立大学第一期入試始まる
- 15 新年度事業計画発表
- 23 国立大学第二期入試始まる
信州大学入学試験 (各学部)

連合して「全国学生文化連合」を
構成し、高校生が大学進学のため
入試の学力試験、などの模擬テス

しく申し上げますと、本会は信州大學唯一の学内団体でありまして会本部は織細学部内千曲会館に事務所を置き専任事務員四名と学生係員四名がおります。そして支市の事務所は松本分区分として松本市深田町入丁と織細部内二愛野丁とに二つ進進コンクールとが学方コンクールを、また中學生が簡校に進進するものアチーフメント・デスト・コンクール等を連合して金庫に應じている。

加盟団体は次の通りで内（一）は各団体の所在地、（二）内は担当地域である。

長野市妻科僧大寶内に夫々設置さ
北海道大學學生教育指導会
〔札幌市北大附〕〔北海道〕

れており、飯田にも申
入所がありませう。富
東北大學 進學指導会

は在學生を以つて組織

し各学部一割位の学生が関係しており、顧問

に高橋学長と六学部長を迎え、理

事には各学部から一名の教授を推
 信州大學 尚學會
 (上田市常入信大構内)

【長野縣】
選ばれた若干の學生が當つて余て
名古屋大學學生文化研究会

紙面の都合で省略ですが、先輩の
 名古屋大學生文化研究會
 (名古屋市中区名大構内)
 (委員)三浦(支直)「

皆々様のよろしき御指導と御支援
京都大學 親學會

を御願い申し上げる次第です。

(京都市左京区吉田京大構内)

石川、福井各縣、京都府、神戶（東灘區、阪神間を除く）
中国地方（山口縣を除く）四

【國地方四縣】
奈良女子大學 研學會

〔奈良市北魚島西町奈良櫓内〕
〔奈良縣・三重縣伊賀上野以西〕

大阪大學 啓學會

大阪府、和歌山縣、兵庫縣東
灘區以東

九州大學 學窓會

〔福岡、山口、佐賀、長崎各縣〕

（鹿児島市山下町大橋内）

信州大學尚學會本部

（上田市常入信大構図）
（金藤統括）
（維維字部）

信大尚學會長野分區

〔北担当〕教育・工学部

松本市縣町信大構内

【中・陸信託銀行・交理・医学・
教育分校及び農学の四学部】

飯田市銀座平安堂書店内

飢民市及下伊州計括三

Shinshu Students Times

1954年6月1日 NO37

(昭和28年7月13日第三種郵便物認可)

発行所
上田市常入信大構内
信州大学尚學會
TEL (上田)1217
振替長野15983
購読料 1部 6円
一ヶ月 25円
毎週月曜日発行

学内唯一の厚生団体

尚學會の歩み

信大内に於ける文化厚生団体である尚學會のことにつきましては既に広く御存じの方も多いと存じます。此の機関に学内並に同窓の皆さまに紹介いたし、手記を寄せて頂きます。

一、沿革——一九四九年旧制松本商校(現信大文理学部)内に「ひまわり寮」を創設し、同寮の学生をあげ主として中学生的の学習指導をしたことに始まり、翌五〇年に東大学力増進会長野支部となり、五一年に任意団体から学内公認団体として信州大学「学力増進会」に改組され、本部がこゝに組織学部に移され、教育、工の同窓部学生のため長野に、医、文、理、教育分校の三学部学生のために松本に、また農学部学生のために伊那にそれぞれ分区分が設置されました。この頃から全縣的に、高次の学習指導が広まり、広く学生にアルバイトを提供することが出来るようになりました。翌五二年には上田で初のサマースクールを開講して好評を博しました。しかしして昨年度信大尚學會に改称して、全国学生文化連合に加盟し、昨年七月は松本で文化連合の総会をもち、本年も七月は上田で同会議がもたれることになっています。また昨春からは手曲会の御理解ある御協

にまわっていることは、現今の学生生活が社会不況経済の波におおわれて、経済情勢の窮乏をうけているものと思われず。

四、アルバイト活動——尚學會が一体の位生のために役立っているか、と云ふことについて数字で御説明しますと

アルバイト利用度				
	本部 (上田)	上田分区分	長野分区分	松本分区分
委員手当	40,500	36,500	48,000	58,000
委員数	6名×12	5×12	5×12	7×12
アルバイト費	104,470	101,324	61,200	142,848
アルバイト数	延401名	延620名	延414名	延895名
合計	183,000	23,000	23,000	23,000

1. アルバイト費として学生 2330名に還元された額は総支出の2044,348円のうち592,242円で約25%が支出されている。

お知らせ

当会ではたゞいま週刊四頁の中学生版に主力をそゝいで発行しておりますが、臨時増刊として、高校生版、同窓生版、大学生版なども発行しておりますので、先輩各位からの原稿をお待ちしております。

編集部

上田(郷土)の香……

TEA ROOM

NEXT

TEL 1780

牛なべ食堂

こんぞう

TEL 298

みなさまの 食卓におくる。味で評判の…

味の信州ハム

直売所 上田市松尾町・TEL 449
販売元 上田市祝町・TEL 782
製造元 上田市祝町・TEL 316-1423